

# 健やか子どもの笑顔事業 in 豊岡

児童文化研究会

## 児童文化研究会とは

児童文化研究会（通称：どうけん）は今年 2025 年で創部 110 周年になる教育ボランティア団体です。当団体のメンバーが一から企画や準備を行ったゲーム企画や人形劇などを通して子どもたちに文化的に豊かな経験の場を提供し、その経験が「子どもたちのよりよい成長」を促すことを願いながら、一緒に楽しく交流することを目的として活動します。鶴甲小学校に通う子どもたちを対象として「鶴甲子ども会」の運営や近隣児童館での人形劇公演、子ども向けイベントブース企画といった活動を中心に行なっています。

当団体で一番大きな活動は夏季休暇期間に実施する豊岡での活動です。50 年以上継続してきており、OB OGの方々からもたくさんの思い出話をお聞きする伝統ある大切な活動となっています。

## 活動の狙い

神戸大学が所在する兵庫県は、瀬戸内海沿岸地域に多くの人が暮らしています。しかし、日本海側の地域は人口減少が進み、過疎化・高齢化に拍車がかかっています。そこで子どもたちに楽しんでいただくイベントでの経験を活かし、普段の活動拠点である神戸大学近郊から飛び出し、兵庫県北部で生活をしている子どもたちと夏休みの思い出づくりを行うことで地域の活性化につなげることを狙いとしています。

## 活動の内容

今年度の活動は香美町立長井小学校と豊岡市民プラザ（アイティ 7F）で行いました。

長井小学校では「色んな国」をテーマとして人形劇や

工作、縁日等を行いました。縁日では、「どうけんパスポート」を発行し、まるで世界旅行をしているかのように韓国のはし投げやフィンランドのモルックなど 7 つのゲームブースをまわってもらいました。子どもたちに特に好評

な企画は水風船でした。前日まで天気がどうなるのかわからず実施できるのかどうか不安でしたが、楽しんでもらうことができて嬉しく思います。

豊岡市民プラザでは「ねこのおさんぽ」という人形劇と手遊びの公演させていただきました。予想以上の方々にお集まりいただき、とても盛り上がる公演となりました。人形劇公演中はお話しの夢中になり、人形劇公演終了後には主演のねこの他にもパンダやチンアナゴとも触れ合ってもらうことができました。手遊びでは「バスに乗ってゆられる」を行いました。リズムに合わせた動きを身体で感じられて、会場全体としてもとても温かい雰囲気でした。



## 今後の展望

今後も古くから続く伝統を大切にしながら豊岡での活動を継続していきたいと考えています。しかし、香美町では急激な少子化や核家族化に伴う家庭環境の変化等を踏まえて多くの小学校が統合されています。長井小学校も令和 7 年度をもって閉校となり、令和 8 年度には近隣の柴山小学校、余部小学校とともに香住小学校へ統合される予定です。こうした状況から少しずつ形は変化していくかもしれませんが、時代の変化に対応しながら子どもたちとの関わりを持ち続けられるように取り組んでいきたいです。

## 最後に

この活動を支援してくださった童研童友会、地域連携推進本部のみなさん、また活動に賛同してくださりさまざまな準備をして下さった長井小学校、豊岡市民プラザのみなさんに厚くお礼申し上げます。

## 夏の子ども大会



DOUKEN  
PASPORT

